

処方箋

カルテ番号		発行	年 月 日
病名			
処方	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤名（一般名）：アスピリン腸溶錠 ・英名：aspirin ・分類： ・分類(略称)：抗血小板 ・用法：内服（錠） ・表示区分：なし <p>・禁忌：本剤またはサリチル酸系製剤に対する過敏症既往歴、消化性潰瘍のある患者、出血傾向のある患者、アスピリン喘息またはその既往歴、出産予定日 12 週以内の妊婦、低出生体重児、新生児、乳児</p> <p>・慎重投与：</p> <p>〔作用〕 COX-1 阻害によりトロンボキサン A2 を合成を阻害し血小板の凝集を抑制する</p> <p>〔適応〕 狭心症（慢性安定狭心症、不安定狭心症）、心筋梗塞、虚血性脳血管障害（TIA、脳梗塞）における血栓塞栓症の予防、冠動脈バイパス術（CABG）あるいは経皮経管冠動脈形成術（PTCA）施行後における血栓塞栓の形成抑制、川崎病</p> <p>〔副作用〕 頭蓋内出血、肺出血、消化管出血、TEN、喘息発作、再生不良性貧血、肝機能障害、消化性潰瘍など</p> <p>豆知識（国試対策事項や使用の注意等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●抗炎症のために用いるアスピリンとは異なり、長期の服用となることが多いため副作用軽減のため腸溶錠となっている ●そのため、基本粉砕や半錠はしないこと ●ただし、急性心筋梗塞並びに脳梗塞急性期の初期治療では初回投与時はすりつぶしたりかみ砕いて服用する ●術前は抗血小板の寿命が 7 日のため 3-7 日程度休薬期間を設けること ●P2Y12 受容体拮抗薬と併せて DAPT 療法に用いられる 		